

ZENBUTSU

全仏



No.
596

仏暦2557年1月
[2014年]



高尾山元朝一番御本尊特別開帳大護摩供 (大本山高尾山薬王院 大山隆玄 貫首)

目次	新年のご挨拶：半田孝淳会長 小林正道理事長	2
	第5回理事会開催	3
	全日本仏教会 第31期会長・副会長紹介	3
	平成25年度加盟団体顧問弁護士連絡会(告知)	4
	第4回人権問題連絡協議会(告知)	4
	InterFaith日本プログラム開催について	5
	総本山仁和寺第五十世門跡 真言宗御室派管長 立部祐道大僧正晋山式・祝賀会開催	6
	長崎市仏教連合会主催 平和祈念仏舎利奉安式開催	6
	第35回埼玉県佛教徒大会・第17回わかる仏教講演会開催	7
	第48回大阪府佛教徒大会開催	7
	仏教主義学校連盟主催第30回弁論大会開催	8
	東京都仏教連合会主催 第25回「成道会の集い」開催	8
	東日本大震災第7次支援金拠出に関するご案内	18
	全日本仏教会救援基金について フィリピン台風被害への支援	19
	平成26年花まつりポスター頒布スタート	20

公益財団法人



全日本仏教会

WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

新年のご挨拶



第二百五十六世天台座主
第三十期公益財団法人全日本仏教会会長

半田 孝淳

謹んで新年の御慶を申し上げます。

皆様方におかれましては、すこやかに新年をお迎えになられましたこと大慶至極に存じます。何卒、本年も相変わりませざるよろしくお願い申し上げます。

さて、近年の風潮をみますと、国内外を問わず、人々の幸せあるいは国の成長の度合いを測る基準値を「科学技術の開発」あるいは「経済の発展」に求めているような気がいたします。

その背景には、力によって勢力を拡大してきたおごりと過信、あるいは科学文明に対する盲目的追求があるように思われます。

それらは、力という画一的な価値観で世界を支配することができるといふ、あやうさを秘めている

ように思われてなりません。これからは、仏教が育んできた「慈悲心」が未来を決めていくものとなるであります。

すなわち他者を排除し支配するのではなく、共に生きること、更に他者を生かすための「忘己利他」の思想などが私たちの文化を豊かに発展させてきたという考え方があります。

混迷の時代から新しい時代へと移る、その扉を開けるためには、仏教の持つ寛容性が求められております。皆様方には何卒格段の御力添えをお願い申し上げます。

皆様のお力添えをお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



第三十期公益財団法人全日本仏教会理事長

小林 正道

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

除夜の鐘をもって煩惱を打ち払い、新たな志をもって新しい年を迎える——諸行無常の中で自らの生き方を考える伝統を尊んでいきたいと存じます。

東日本大震災からまもなく三年。月日の流れは早くとも、被災の地では、未だ不自由な生活を余儀なくされている人が多い現状です。

復興大臣にお会いし、仏教界の要望をお伝えしましたが、本会の調査では、被災寺院は三千六百カ寺以上にのぼり、多くの尊い人々の命が失われました。同調査によると、本会の加盟団体関係での支援規模は百億円超になりました。一方、多くの寺院が避難所となり、地元や全国から参じた僧侶らによって、供養をはじめ多くの活動が見返りを求めず繰り広げられて、コミュニティに根ざした仏教文化

が再認識されたことは、大きな存在感をもって示され、社会に評価されました。実践された方々にも、また日常時も、社会と共にある仏教・寺院・僧侶であり続けたいと改めて思うところです。

本年は、諸宗教間協力によって世界平和を祈る、国内外からの参加者によるIntelFutaba 駅伝がわが国で初めて開催され、また三年後に迫る本会創立六十周年記念事業が本格的にスタートする年です。

公益財団法人になってまもなく二年が経過するにあたり、本会の新体制を振り返り、伝統仏教界のさらなる結束のもと、人々と共にある全日本仏教会を旨指して精進する一年でありたいと存じます。加盟団体・関係各位のますますのご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

第五回理事会 開催 次期会長・副会長の推戴が承認される

十一月十九日午後二時より、京都・浄土宗宗務庁三階講堂において標記会議を開催した。出席者は次の通り（順不同、敬称略）。

理事 二十名中十七名出席

小林正道、河村松雄、池田行信、不破 仁、松山英照、近藤昌俊、粕谷利通、森田俊朗、岡野正純、桶屋良祐、石堂恵眼、山田一眞、本間孝康、杉山令憲、吉田教行、長澤香静、竹田空尊

監事 三名中二名出席

井桁雄弘、古澤勝浩

その他

下田正弘（大蔵経研究推進会議議長）、長谷川正浩（本会顧問弁護士）

《決議事項》
議案第一号【会長・副会長の推戴について承認を求める件】

理事会前に開催された会長・副会長推戴候補者推薦委員会の答申を受け審議した結果、全会一致で次の五師を次期本会会長・副会長に推戴することを承認した（写真及び現職を下記に掲載・敬称略）。

第三十一期会長

加藤精一師（真言宗豊山派管長）

第三十一期副会長

常磐井慈祥師（真宗高田派法主）
石田智圓師（律宗管長）
御木徳久師（愛媛県仏教会会長）
鷹司誓玉師（公益社団法人全日本仏教婦人連盟名誉会長）

協議事項第一号【平成二十六年事業計画大綱について賛同を求める件】

協議事項第二号【平成二十六年予算大綱について賛同を求める件】

右記二件については、審議の結果全員より賛同を得た。

協議事項第三号【その他】

機関誌『全仏』六百号記念刊行にかかる企画案及び発送等について審議をし、会議で出された意見を踏まえて引き続き検討をしていくことで、全員の賛同を得た。

《報告事項》

報告事項第一号【大蔵経テキストデータベース運営支援の現況報告】

大蔵経研究推進会議議長・下田正弘氏より、第一期・第二期事業報告及び第三期事業案（平成二十六年四月一日から三ヶ年）の説明があった。

第31期副会長
石田 智圓 (いしだ ちえん)



○昭和10年7月9日生
■律宗管長
■唐招提寺 第87世長老
■公益財団法人 美術院評議員
■奈良古文化保存協会理事
■公益社団法人 奈良市観光協会 顧問

第31期副会長
常磐井 慈祥 (とぎわい じしょう)



○昭和34年11月18日生
■真宗高田派専修寺 第25世法主
■公益財団法人 中村元東方研究所 研究員
■東方学院講師

第31期会長
加藤 精一 (かとう せいいち)



○昭和11年6月27日生
■真言宗豊山派第32世管長
■総本山長谷寺第86世化主
■東京都第五号宗務支所第224番南蔵院住職 (東京都練馬区)

第31期副会長
鷹司 誓玉 (たかつかさ せいぎよく)



○昭和4年10月28日生
■大本山善光寺 大本願法主
■全日本仏教婦人連盟 名誉会長
■全日本尼僧法団 総裁及び 長野県支部長
■浄土宗吉水会 名誉顧問及び 長野県支部長
■ガールスカウト 日本連盟長野県 第31団委員長
■道心会総裁

第31期副会長
御木 徳久 (みぎ とくひさ)



○昭和35年5月16日生
■愛媛県仏教会会長
■松山市仏教会顧問
■黄檗宗安城寺住職
■黄檗宗龍蔵寺住職

平成二十五年度 加盟団体顧問弁護士連絡会(告知) テーマ.. 宗教法人設立認証制度の現状

宗教法人設立に伴う手続きは、宗教法人法第十二条において定められているとおりで、同十三条で定められる書類を整備の上、所轄庁へ提出し、宗教法人の認証を受けなければならない。

しかし、文化庁が認証手続きの所轄となる各都道府県に示した「宗教法人の規則等の認証に関する審査基準(留意事項)」には、前記の書類の他、申請をする法人の過去三年程度の実績一覧及び収支予算・決算書についても提出を求め、申請を行なう団体に対し厳密な審査を行なうことを求めている。現在は、この留意事項に従った認証手続きが一般化している。つまり、宗教法人の設立認証を受ける為には、宗教法人法に定められる手続きを進めたとしても、協議期間を含め、最低三年間は認証を受けることができないことになる。こうした事態に対し、「宗教法人法から逸脱しており、違法な制

度だ」といった声もあるが、反社会的組織による宗教法人の設立に歯止めをかける制度でもあり、この認証制度については賛否が分かっている。

そこで、今回の顧問弁護士連絡会では、文化庁の示す留意事項について、元文化庁職員で大正大学教授の村上興匡師による講演の後、出席者による意見交換を行い、この認証制度の必要性も含め、多角的見地により議論をする予定である。

◆開催日程(予定)

【日時】平成二十六年二月四日(火)

午後一時~智積院特別拝観

午後二時~連絡会開始

【会場】真言宗智山派宗務庁

【参加対象】加盟団体顧問弁護士・

加盟団体担当職員

【問合せ】全日本仏教社会人権部

担当/大辻・田代

第四回 人権問題連絡協議会(告知) テーマ.. 仏教会は現行死刑制度をどう捉え考えるか?

本会では、さまざまな差別問題の解消、人権擁護の推進等を仏教界で推し進めるため、加盟団体の人権関係担当者が出席する、人権問題連絡協議会を年二回開催している。今回は、日本の死刑制度について協議をする。

日本国内では「死刑」は法的な根拠を伴っており、現在も死刑執行が行なわれている。しかし、世界各国に目を向けると、死刑制度廃止を決定する国の数が年々増え、二〇一二年の時点で、死刑制度自体を廃止(又は停止)している国は百四十カ国、二〇一二年に死刑を執行した国は二十一カ国である。

世界的に死刑制度が廃止(又は停止)されている大きな理由は、一九四八年に国連より出された「すべて人は生命に対する権利を有する」と明記する世界人権宣言に基いている。以降、日本は国連の自由権規約人権委員会、欧州地域四十七カ国により組織される欧

州評議会から死刑制度に関して見直すべきとの勧告を受けているが、死刑制度についての議論は日本国内及び仏教界で充分行われているとは言い難い実情がある。

今回の人権問題連絡協議会では日本弁護士連合会より講師を招き、講演会を開催する予定である。死刑制度が存続している理由や、死刑制度を廃止した場合の問題点及び必要となる法整備等を中心に、人権の見地からこの問題を取り上げる。講演後には、出席者同士による意見交換の時間を設け、議論を深めるきっかけとなる事を目的とする。

【日時】

平成二十六年二月二十七日(木)

【会場】

真宗大谷派宗務所

【参加対象】

加盟団体人権問題担当者

【問合せ】

全日本仏教社会人権部

担当/大辻・西野

InterFaith 日本プログラム開催について

開催までの経緯

ルクセンブルクで諸宗教間の相互理解と世界平和を祈願することを目的として開催されている

InterFaith（諸宗教間交流）駅伝（以下：I-F 駅伝）に、昨年六月、日本の宗教界から本会代表団が初めて参加したことが機縁となり、

日本を代表する宗教都市であり、駅伝発祥の地でもある京都でI-F 駅伝を開催すべく、関係各所と協議を重ね、十月二十九日、京都マラソン実行委員会の中で、京都マラソン2014においてI-F 駅伝を併催することが正式に決定された。

開催にあたり、（公財）日本宗教連盟、京都府宗教連盟を構成する諸宗教団体の協力のもと、十一月一日にInterFaith日本実行委員会を組織し、駅伝を軸とした諸宗教間交流をはじめ、一般の方々とも交流ができるInterFaith日本プログラム（以下：I-F 日本プログラム）実施に向け、準備を進めて

いる。なお、同日、門川大作京都市長にI-F 駅伝開催の報告をし、深いご理解と励ましのお言葉を頂戴した。

また、十二月二日にはI-F 日本プログラムの仮サイトが立ち上がり、一月中旬に公式サイトに移行し、プログラムの詳細告知や周知活動を展開していく予定である。

HPアドレス

<http://www.interfaith-japan.com/>

I-F 日本プログラムの開催が、特に宗教に無関心な若者にとって、宗教に対する理解と造詣を深め、きっかけとなり、そして価値観や思想の多様性を認めあうことの重要性を理解してもらうことで、社会問題の解決や東日本大震災の復興、世界平和の実現に寄与することを目的とする。

InterFaith日本実行委員会

委員構成

【顧問】

・芳村正徳（教派神道連合会理事長）

・小林正道（〈公財〉全日本仏教会理事長）

・渡邊純幸（日本キリスト教連合会会長）

・田中恆清（神社本庁総長）

・岡野正法（〈公財〉新日本宗教団体連合会理事長）

【委員】※委員長 関崎幸孝

・宍野史生（〈公財〉日本宗教連盟幹事、教派神道連合会幹事）

・関崎幸孝（〈公財〉日本宗教連盟幹事、〈公財〉全日本仏教会事務総長）

・久保公平（〈公財〉日本宗教連盟幹事、日本キリスト教連合会常任委員）

・湯澤 豊（〈公財〉日本宗教連盟幹事・同事務局長、神社本庁渉外部長）

・齋藤謙次（〈公財〉日本宗教連盟幹事、〈公財〉新日本宗教団体連合会事務局長）

・長澤香静（京都仏教会事務局長）

・熊谷正明（京都府仏教連合会事務総局長）

・中嶋茂博（京都府神社庁参事）

・村田健史（神社本教責任役員）

・川村哲嗣（京都キリスト教協議会会長）

・山田 歌（宗教法人大本大本本部総務課主幹）

・安村真一郎（天理教京都教区主事）

・池川智世雄（金光教代表役員）

・森井謹三（新日本宗教団体連合会京都府協議会事務局長）

・松山大耕（臨濟宗妙心寺派退蔵院副住職）



第1回InterFaith日本実行委員会（京都：立正佼成会普門館会議室）

総本山仁和寺第五十世門跡
真言宗御室派管長

立部祐道大僧正晋山式・祝賀会開催

十一月十三日午前十一時より、真言宗御室派総本山仁和寺金堂において立部祐道大僧正猊下の晋山式が執り行われた。本会からは関崎幸孝事務総長が半田孝淳会長の名代として出席した。

式には総本山仁和寺関係者・真言宗各派総大本山会関係者・地元関係者が僧俗共々に多数参集し、晋山式が勤められた。瀬川大秀仁和寺執行長の謝辞で閉式後、京都ホテルオークラに会場を移し、盛大な祝賀会が催された。

この祝賀会には真言宗各派総大本山会それぞれの代表者をはじめ、派内公職者、行政の首長、企業、マスコミ関係者、門跡の関係者等約三百三十名が出席された。

来賓として、黒沢全紹大僧正、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、千玄室仁和寺信徒総代が祝辞を述べられた。続いて立部門跡が登壇され、十代で出家して以



祝賀会の様子

来の思い出を語られる中で大切にしてきた言葉として「貌・言・視・聴・思」を取り上げられ、感涙の面持ちで謝辞を述べられた。続いて立部門跡自坊の伊豆美沙子総代の発声で声高らかに乾杯が唱和され、祝宴が開始された。暫しの間、会場内は歓談に包まれていたが、和やかな雰囲気の中に瞬く間に中締め時間となり、瀬川大秀仁和寺執行長の謝辞で閉宴となった。

長崎市仏教連合会主催
平和祈念仏舎利奉安式開催

十一月十六日、長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂（以下…追悼祈念堂）において、長崎市仏教連合会主催のもと、平和祈念仏舎利奉安式が開催された。当日は百名程が参加し、仏舎利の安置と併せて、原爆犠牲者慰霊と恒久平和を願った。

今回安置された「お釈迦様の遺骨」である仏舎利は、昭和二十九（一九四五）年にインドのネール首相（当時）から原爆犠牲者の慰霊、世界の恒久平和を願って長崎市に寄贈されたもの。長崎市仏教連合会が管理をしていた当初から、仏舎利の安置のために、長崎市は仏舎利塔建設計画等を進めたが、中止が続いた。以降約六十年、長崎市仏教連合会の歴代会長が自身の寺で保管し、法要を実施してきた。長崎市仏教連合会は「多くの市民の目に留まる」場所での安置を希望していたが、実現することはなかった。

今回の安置は、田上富久長崎市



挨拶する田上長崎市長

長がネパールを訪れた際に「仏舎利がネール首相から長崎市へ寄贈された」という資料を見たことがきっかけになっている。寄贈の事実を知った長崎市長は、日本で確認の後、長崎市仏教連合会との協議を重ね、今回の安置が決まった。追悼祈念堂には、原子爆弾によって亡くなった、身元や氏名不詳のご遺骨、引き取り手がないご遺骨が観音像とともに安置されている。安置されているご遺骨は八千九百六十四名分（平成二十五年五月現在）になるという。奉安式には長崎市長も訪れ「原爆犠牲者の冥福をお祈りする」と述べ、参加者とともに恒久平和を願った。

第三十五回 埼玉県佛教徒大会・第十七回わかる仏教講演会 開催 大会テーマ 『心豊かに生きる』

標記大会が十一月十八日、埼玉県鴻巣市のクレアここのす大ホールを会場に、一般財団法人埼玉県佛教会と鴻巣市仏教会・鴻巣地区仏教研究会による共催のもと開催された。

大会は記念法楽と講演会・雅楽演奏の三部で構成され、最初に開会行事として記念法楽が行われた。埼玉県佛教会の萩野映明会長（本会副会長）導師のもと、参加者一同で三帰依文を唱和し、導師表白奏読の後、参加者一同で般若心経を勤めた。引き続き萩野会長が挨拶し、約千名の来場者に対して歓迎の言葉と、全国の台風被害者について、お見舞いの言葉を述べられた。

次に本会を代表して大辻隆善社会人権部長が、続いて鴻巣市長代理の武藤宣夫鴻巣市教育長が挨拶を行い開式法楽が終了した。

続いて講演会が行われ、曹洞宗愛知専門尼僧堂堂長の青山俊董師が『今、ここをどう生きる』勅題「立

つ」によせて』と題し講演された。青山師は、まず勅題にちなんだ自作の歌を披露し、人生訓を説かれた後、ホワイトボードを用いながら、分かり易い言葉で心豊かに生きるヒントを話された。

休憩を挟んで行われた雅楽演奏は、真言宗智山派智山雅楽会により、厳かな演奏と勇壮華麗な舞が披露され、来場者は魅了されていた。演奏に引き続き閉会式が行われ、鴻巣市仏教会会長の馬場知行師の閉会の言葉をもって大会は盛会裏に円成した。



青山師による講演

第四十八回 大阪府佛教徒大会 開催

十一月十八日（月）午後三時三十分より、「第四十八回大阪府佛教徒大会」が、大阪府佛教会・大阪府佛教青年会・大阪府宗教連盟の主催で開催された。参加者は三百名程で、本会からは久喜和裕財務部長が参加した。

開会后、「東日本大震災物故者三回忌追悼並びに復興祈願法要」と「大阪府佛教会会員物故者追悼法要」が、井桁雄弘大阪府佛教会会長導師のもと、浄土宗の法式に則り厳かに執り行われた。

また、会場内では東北の被災地の物産が販売されており、被災地に寄り添う大阪府佛教会の姿勢が感じられた。

式典では、まず井桁会長からの挨拶があり、引き続き、住職在任三十年の方々への表彰が行われた。来賓祝辞では、半田孝淳会長本会会長からの祝辞を代読し、次に、倍厳良舜融通念仏宗管長、近畿宗教連盟理事長の挨拶、松井大阪府知事の祝辞が代読された。

式典終了後の講演会では、有馬頼底京都仏教会会長・臨濟宗相国寺派管長猥下による「別に工夫なし」と題した講演が行われた。

ブータン国王夫妻をお迎えした際の心温まるエピソードや、ブータンに招かれた際の国を挙げての歓迎の様子、さらに、険しい山岳地帯での厳しい生活の中に息づいている文化、そして豊かさとは何かを考えさせられたブータン国民の心豊かな生活の紹介など、自らの体験を交えながら、禅味溢れる講演をされた。

講演会終了後、引き続き同会場において記念パーティーが開催された。参加者は更に増え、五百名近い大阪府佛教会会員及び関係者が懇親を深めた。

懇親の席では、前田定戒本会副会長・和歌山県仏教会会長の挨拶に続き、井桁会長の檀家であり女優の三林子氏の挨拶もあり、華やかに、また和やかな中に懇親会が執り行われた。

仏教主義学校連盟主催第三十回弁論大会開催

東京近郊の伝統仏教宗派や寺院によって設立された中学校・高等学校の連合体である、仏教主義学校連盟が主催する第三十回弁論大会が十一月二十九日午後一時三十分から開催された。弁論大会の後援は東京都仏教連合会、全日本仏教会は協賛をしている。

会場は、本年四月に品川区大崎から大田区西馬込に移転し、新装された立正大学学園立正中学校・高等学校内の行学ホールで十三校の中学一年生から高校三年生の弁士二十三名と各学校の生徒六百名余りが参加した。

弁士たちは、自分たちの生き方、男女差別や環境、平和の実現などの社会問題をテーマに五分間の弁論で論理的かつ気持ちを含めた表現力をもって審査員や聴衆に向けてそれぞれの主張を発表した。

昨年に引き続き審査員を務めた関崎幸孝本会事務総長は、「今回も各弁士の真摯な主張に感動した。この大会が継続され、発展されることを望みたい」と述べた。

各賞は、一位一名、二位三名、三位三名。今回の弁論大会では、



一位になった木村華さん

二〇二〇年の東京オリンピック開催に際し、来日される海外の方々へ日本人のやさしい気遣いをテーマにした発表が一位、二位を占めた。

一位には、駒澤学園女子高等学校一年生木村華さん(写真)が「おもてなし」と題し、受賞した。併せて本会の全日本仏教会会長賞も受賞。副賞として、半田孝淳会長が揮毫した色紙「忘(わす)れ他(た)己(おのれ)を忘れて他(た)を利(と)するは慈悲(じい)の極(たぎ)みなり」とを関崎事務総長より贈呈した。

二位は、立正大学付属立正高等学校二年天野咲さんが「おもてなしの心」で受賞し、併せて山本慧(きよみ)賞も受賞した。

この大会は、三十五年前に第十二回世界仏教徒会議が日本で開催されたことを契機に始まった。

東京都仏教連合会主催 第二十五回「成道会」開催

十二月五日(木)午後一時より、朝日ホール(東京有楽町マリオン十一階)にて、一般の方々を対象にした「成道会の集い」が開催された。都内地域仏教会に所属される僧侶を含めて約六百五十名が参加した。

内容は三部で構成されており、第一部は神田秀順東京都仏教連合会会長を導師として法要が厳修され、後援団体である(公社)全日本仏教婦人連盟有志の手により献灯・献花・献香が行われた。法要終了後、神田会長のご法話をいただいた。

続いて第二部は、東京大学名誉教授の養老孟司先生が「暮らしの中の仏教者―幸せを感じるヒント―」と題して講演。養老先生は「近年は死亡者の九十二%が病院で亡くなります。つまり皆さんは今、仮退院中なのです。」と参加者へ語りながら、「自分は急に死んでも困らないが、残された他人は急では困る。つまり自分とは他人のため、人生は人のためにあるのではないでしょうか？」とユーモアを交えて人生を上手に生きるため

の考え方を話され、参加者は大きく頷きながら聞き入っていた。

第三部は清興として、NHK「おあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント!」のマイム振付、指導として参加中のカンジヤマ・マイムのお二人によるパントマイムが披露された。お二人は「身体をたくさん使って、笑って、想像してください。もっと元気になります。そして子供たちにそのことを教えてください。」と述べた。最後は全員で体を動かし、楽しい一時を過ごした。

第三部終了後、山田一真東京都仏教連合会理事長より参加者に謝辞が述べられ閉会となった。



法要の様子

年 新 賀 謹

曹洞宗宗務庁

管 長 福山 諦法

宗務総長 佐々木 孝一

参 議 羽仁 素道

参 議 梅田 泰隆

伝道部長 齋藤 裕道

人事部長 中野 重哉

教学部長 千葉 省三

総務部長 坂野 浩道

教化部長 小島 泰道

出版部長 砂越 隆侃

財政部長 伊藤 道宣

東京都港区芝二丁目一丁目
〒105-8544 〇三(三四五四)五四一一
<http://www.sotozen-net.or.jp>

浄土真宗本願寺派

総 長 園城 義孝

総 務 桑羽 隆慈

総 務 本多 隆朗

総 務 松永 大徳

副 総 務 山階 昭雄

副 総 務 山下 義円

宗門長期振興計画
推進対策室長 武野 公昭

統合企画室長 中尾 史峰

浄土真宗本願寺派
総合研究所長 佐々木 恵精

京都市下京区堀川通花屋町下る
浄土真宗本願寺派 伝道本部(宗務所)
〒600-8501 〇七五(三七)五一八一
F A X 〇七五(三五)一二七二
<http://www.hongwanji.or.jp/>

真宗大谷派

宗務総長 里雄 康意

参 務 杉浦 義孝

青少年センター長 木越 涉

参 務 富田 泰成

解放運動推進本部
研究指導所長 奥林 暁

参 務 首座 藤戸 秀庸

京都市下京区烏丸通七条上る
常葉町七五四
〒600-8505 〇七五(三七)九一八一代表
<http://www.higashihongwanji.or.jp/>

浄土宗

浄土門主 伊藤 唯眞

宗務総長 豊岡 鎌尔

総務局長 中村 在徹

教学局長 山本 正廣

財務局長 浦野 瑞明

社会国際局長 宮林 雄彦

文化局長 岡本 宣丈

総長公室長 浅野 義光

人権同和室長 山北 光彦

災害復興事務局局長
社会福祉推進事務局長

浄土宗宗務庁
京都市東山区林下町四〇〇一八
〒605-0062 〇七五(五二五)二二〇〇代
F A X 〇七五(五三一)五一〇五
東京都港区芝公園四丁目七一四
〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一代
F A X 〇三(三四三四)〇七四四
<http://www.jododo.or.jp/>

日蓮宗

管 長 内野 日総

立正安国・お題目結縁運動



いのちに合掌

www.nichiren.or.jp



日蓮宗宗務院
東京都大田区池上一丁目三二一五
〒146-8544 〇三(三七五)七一八一
F A X 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

謹賀新年

総本山金剛峯寺
高野山真言宗

座長 松長有慶
管長 添田隆昭
執行総長 吉井恵貫
総務総長 小藪実英
執行総長 稲葉法研
国際学部長 廣瀬義仙
国教学部長 山口文章
執行総長 倉岡弘叔
社会人局長 深真樹
信徒局長 加古原大岳
奥之院維那 四之宮弘孝
伽藍維那 柏田良辯
東京別院主監 四之宮弘孝
東京宗務出張所長 柏田良辯
堀川別院主監 柏田良辯
京都宗務出張所長 柏田良辯
和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
〒648-0211 〇七三六(五六)二〇一一
FAX 〇七三六(五六)四六四〇
<http://www.koyasan.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長 河野太通
宗務総長 栗原正雄
総務部長 上沼雅龍
教学部長 並木優記
財務部長 瑞岩眞泰
本部園長 鮎川博道
本部園長 島崎義範
花園会館 部長(兼) 上沼雅龍
京都市右京区花園妙心寺町六四
〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一
<http://www.miyoshinji.or.jp/>

天台宗務庁

天台座主 半田孝淳
宗務総長 木ノ下寂俊
参務部長 阿部昌宏
参務部長 長山慈信
参務部長 田中祥順
参務部長 中島有淳
参務部長 角本尚雄
参務部長 横山照泰
参一隅を照らす
運動総本部長
大津市坂本四丁目六番二号
〒520-0113 〇七七(五七九)〇〇二二
FAX 〇七七(五七九)二五一六
<http://www.tenda.or.jp/>

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

管長 寺田信秀
宗務総長 小宮一雄
総務部長 芙蓉良英
教学部長 細川大憲
教化部長 近藤隆俊
法務部長 鶴飼五大
財務部長 深澤照生
宗務出張所長 近藤昌俊
別院執事 近藤昌俊
京都市東山区東大路七条下ル
東瓦町九六四
〒605-0951 〇七五(五四一)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所

管長 加藤精一
宗務総長 坂井智宏
総務部長 増澤秀丸
教務部長 菅野秀浩
財務部長 中正宣
教化部長 岩脇彰信
教化センター長 吉田敬岳
総合研究院院長 平井宥慶
東京都文京区大塚五―四〇―一八
真言宗豊山派宗務所
〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九
<http://www.buzan.or.jp/>

謹賀新年

天台真盛宗宗務所
総本山西教寺

貫首長 西村 冨紹

宗務総長 川合 歳明

庶務部長 喚阿 宏道

教学部長 別所 泰広

社会部長 竹澤 良全

財務部長 色井 秀宰

滋賀県大津市坂本五十一三一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

和宗総本山
四天王寺

管長 奥田 聖應

副管長 森田 俊朗

清光院 健代 和央

地藏院 加藤 公俊

真光院 瀧藤 尊淳

施行院 南谷 惠敬

吉祥院 塚原 昭應

奥之院 宮崎 光映

東光院 出口 隆順

静専院 吉田 明良

宝泉寺 廣瀬 善重

一音院 坂本 峰徳

勝鬘院 山岡 武明

中之院 森田 惇朗

大阪府大阪市天王寺区四天王寺一丁目十一番十八号 和宗宗務所
〒543-0051 〇六六(七七)〇〇六六
FAX 〇六六(七七)四九二一
<http://www.shinnoji.or.jp>

総本山仁和寺
真言宗御室派

管門長跡 立部 祐道

宗務総長 瀬川 大秀

執務部長 河西 孝典

執務部長 大西 智城

執務部長 藤橋 千秋

仁和伝法所 添野 智讓

仁和密教学院 林 俊仁

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六)一一五五
FAX 〇七五(四六)四〇七〇
<http://ninnaji.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管主長 仲田 順和

宗務総長 壁瀬 宥雅

執務部長 仲田 順英

教学部長 田中 祐考

財務部長 浦郷 宜右

京都市伏見区醍醐東大路町三二
〒601-1325 〇七五(五七)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七)〇一〇一
<http://www.daisoji.or.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管主長 倍巖 良舜

宗務総長 吉村 暲英

教学部長 中江 慈光

庶務部長 岡田 眞澄

財務部長 北川 全宏

大阪市平野区平野上町一七二六
〒547-0045 〇六六(七七)〇〇二六
FAX 〇六六(七七)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>

年 新 賀 謹

法華宗(陣門流)

管 長 石丸日然

宗務総長 佐古弘文

総務部長 牧野秀成

教学部長 布施義高

教化部長 今井満良

財務部長 金原孝宜

企画部長 山岸観深

東京都豊島区巢鴨五―三五―一六
〒170-0002 ○三(三九一八)七二九〇
FAX ○三(三三五六)〇二二二

一般財団法人 埼玉県佛教会

会 長 萩野映明

副会長 木村盛雄

同 倉持秀裕

専務理事 深谷雅良

常務理事 穂山教雄

同 加藤玄静

同 杉村良哉

同 糸原恒久

事務局長 金子嘉広

さいたま市浦和区高砂 四―一三―一八
〒330-0063 ○四八(八六二)二一三八
FAX ○四八(八六四)六六四九
<http://sabutsunet/>

神奈川県仏教会

会 長 和田大雅

副会長 都築哲信

同 木内雍明

同 夏見邦夫

同 丸山邦雄

事務局長 吉水智栄

横浜市中区大平町九六 西有寺内
〒231-0859 ○四五(六六一)〇一六六

京都府仏教連合会

理事長 佐々木鴻昭

理事 里雄康意

同 北川一有

同 栗原正雄

同 小宮一雄

同 壁瀬宥雅

同 藤井照源

同 久保敬童

同 日下俊精

同 赤田泰宏

同 村山孝純

同 永安宣明

同 鷺山靖之

監 事 赤塚高明

同 田辺隆行

事務総長 和治教文

京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺門前町本願寺事務所内
〒600-8501 ○七五(三七二)五一八一

大阪府佛教会

会 長 井桁雄弘
(浄土宗 大圓寺)

副会長 村山廣甫
(曹洞宗 東光院)

同 森 快隆
(真言宗 葛井寺)

同 加藤定厚
(浄土真宗本願寺派 大行寺)

同 藪木恵照
(日蓮宗 妙浄寺)

事務局長 二上寛弘
(真言宗 釋迦院)

事務局
大阪市港区築港一―十三―三
釋迦院内
〒552-0021 ○六(六五七)五七一〇

謹 賀 新 年

和歌山県仏教会

会 長 前田 定 戒
(浄土宗 廣原寺)

副 会 長 武内 龍 雄
(日蓮宗 本行院)

同 岩谷 杖 忍
(法華宗 久成寺)

同 西溪 光 照
(西山浄土宗 稱念寺)

事務局 長 柳瀬 智 明
(高野山真言宗 惣光寺)

和歌山市西高松一十一二三
〒641-0051 平和会館内
FAX 〇七三(四二六)〇四三四
FAX 〇七三(四三三)八三二二

公益財団法人 仏教伝道協会

会 長 沼田 智 秀
(代表理事)

名譽会 長 福山 諦 法
(理事)

理 事 木村 清 孝

同 上 山 大 峻

同 桂 紹 隆

同 門 脇 邦 彦

同 野 村 邦 武

同 中 谷 忠 雄

常務理 事 生 田 忠 士

監 事 中 野 東 禪

同 松 村 智 司

〒108-0014
東京都港区芝四丁目三十一-四
電 話 〇三三(四五五)五八五一
FAX 〇三三(七九八)二七五八
<http://www.bdko.jp>

金峯山修験本宗 総本山金峯山寺

管 長 五 條 覺 照

宗務総 長 田 中 利 典

執 行 長 五 條 良 知

奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九八
〒639-3115 〇七四六(三三)八三七一
FAX 〇七四六(三三)四五六三
<http://www.kinpusen.or.jp>

念法眞教 総本山小倉山金剛寺

燈 主 稲 山 靈 芳

大阪市鶴見区緑三十四-二二
〒538-0054 〇六六(九二)二二〇一
<http://www.renpoushinkyou.jp>

真言宗国分寺派 大本山国分寺

管 長 合 田 和 教

宗務総 長 糟 谷 眞 教

大阪府大阪市北区国分寺 一六一十八
〒531-0064 〇六六(三五)五六三七
<http://www.kokubunjisakajapan.com>

真言三宝宗 大本山清澄寺

法 管 主 長 坂 本 光 謙

宗 務 長 岡 田 康 秀

執 行 長 有 井 良 隨

鐵 齋 美 術 館 長 森 藤 光 宣

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一
FAX 〇七九七(八六)六六六〇
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺

管 長 鈴 木 貴 晶

前 管 長 田 中 眞 瑞

長 老 鈴 木 風 永

宗 務 長 野 澤 密 孝

奈良県生駒郡平群町信貴山 二二八〇-一
〒636-0923 〇七四五(七)二二七七

真宗高田派

宗務総 長 青 木 眞 暁

総 務 藤 森 邦 夫

総 務 鈴 木 紀 生

三重県津市一身田町二八一九番地
〒514-0114 〇五九(二三)四一七一
FAX 〇五九(二三)一四一四

年 新 賀 謹

黄 檗 宗

管 長 岡田 亘 令

宗務総長 浅井 聖道

京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611-0011 〇七七四(三二)三九〇〇
FAX 〇七七四(三二)六〇八八

顕本法華宗

管 長 山本 日惠

宗務総長 朝倉 俊幸

京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 〇七五(七九)七一七一
FAX 〇七五(七九)七二六七

真言律宗 総本山西大寺

真言律宗管長
総本山西大寺長老
大 矢 實 圓

奈良市西大寺芝町一丁目一の五
〒631-0825 〇七四(四五)四七〇〇
FAX 〇七四(四五)四七二〇

東京都仏教連合会

会 長 神田 秀順

理事長 山田 一真

事務局長 新倉 典生

東京都足立区梅田一―二十六―十
善立寺内
〒123-0851 〇三三八八六―一三六七
FAX 〇三三八八六―八二五二

愛媛県仏教会

会 長 御木 徳久

副会長 内藤 卓洲

同 福村 俊弘

事務局長 怒和 智幸

愛媛県松山市安城寺町二二七二
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局
〒791-8006 〇八九(九七)九〇〇六九

法華宗(本門流)

管 長 平田 日範

宗務総長 二瓶 海照

東京都中央区日本橋
人形町二―一九―一
〒103-0013 〇三(五六)四三〇五五
FAX 〇三(五六)四三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

本山門 宥清寺

講 有 山内 日開

宗務総長 木村 日覚

本山宥清寺
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本山門立宗 宗務本庁
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一―〇番地
TEL 〇七五(四六二)一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八)三三四四
URL <http://www.honnon-butsunyuushu.or.jp/>

福島県仏教会

会 長 丹治 宥勝

専務理事 八幡 龍法

事務局長 豊島 宗樹

福島県福島市松川町字町裏三五
西光寺内
〒960-1241 〇二四(五六七)二二六一
FAX 〇二四(五六七)三二二一

愛知県仏教会

会 長 吉田 教行

副会長 田畑 修身

同 伊藤 正導

同 岩木 涼山

名古屋市中白区植田一―三二―一
全久寺内
〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉

会 長 東伏見 具子

理事長 末廣 久美

事務局長 林 恵智子

東京都渋谷区千駄ヶ谷
四―五十一―二〇五
〒151-0051 〇三(五七七)〇六七七
FAX 〇三(五七七)〇六七七
<http://jbwfi.jp>
E-mail:info@jbwfi.jp

年 新 賀 謹

公益財団法人 国際仏教興隆協会

名誉会長 塩川 正十郎

印度山 半田 孝淳
日本寺竺主

理事長 安田 暎胤

事務総長 正本 乗光

役員 一同

東京都目黒区中目黒五―二四―五三
〒153-0061 〇三(三七一一)七六〇八
FAX 〇三(三七一一)七六七三
<http://www.ibba.jp/>
E-mail:jimukyoku@ibba.jp

聖観音宗 浅草寺

貫首 清水谷 孝尚

東京都台東区浅草二―三一―一
〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

孝道教団

統理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三三)一一〇〇一
FAX 〇四五(四三四)一一八八

真言宗大覚寺派宗務庁 大本山 大覚寺

管門 長跡 黒沢 全紹

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 〇七五(八七一)〇〇七一
FAX 〇七五(八七一)〇〇五五

総本山 根来寺

新義真言宗宗務所

和歌山県岩出市根来二二八六
〒649-6202 〇七三六(六六一)一一四四
FAX 〇七三六(六六一)一〇四四

大本山 須磨寺

貫主 小池 弘三

神戸市須磨区須磨寺町四―六一―八
〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六

真言宗 中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二丁目十一―一
〒665-8588 〇七九七(八七七)〇〇二四
FAX 〇七九七(八七七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp>

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

京都市南区九条町一
〒601-8473 〇七五(六七二)三七一七
FAX 〇七五(六六一)六八五六

西山浄土宗

総本山 光明寺

京都府長岡京市粟生西条の内
一六番地の一
〒617-0811 〇七五(九五五)〇〇〇二
FAX 〇七五(九五五)二二六四
東京別院
東京都町田市小山ヶ丘一―二―一
〒194-0215 〇四二(七九四)八五八五
<http://www.komyo-ji.or.jp/>

時宗宗務所

宗務総長 桑原 弘善

神奈川県藤沢市西富一―八―一
遊行寺内
〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六

臨濟宗 円覚寺派

大本山 円覚寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-8503 〇四六七(二二)〇四七八
<http://www.engakuji.or.jp/>

臨濟宗 相国寺派

大本山 相国寺

京都市上京区今出川通烏丸東入
相国寺門前町七〇一番地
〒602-0898 〇七五(二二二)〇三〇一
FAX 〇七五(二二二)三五九一
<http://www.shokoku-ji.jp>
E-mail:shokoku@d9.dion.ne.jp

北海道 仏教会連盟

会長 黒田 正宣

札幌市中央区北三条西十九丁目二―一
浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内
〒060-0003 〇一一(六一)九六二三

茨城県 仏教会

会長 松本 一浩

茨城県筑西市申一六八 藏福寺内
〒308-0021 〇二九六(二四)〇一四九
FAX 〇二九六(二五)五九〇九

年 新 賀 謹

<p>岐阜県仏教会</p> <p>会 長 橘 正 信</p> <p>岐阜市西野町三一 岐阜西別院在会所西側入口 〒500-8882 ○五八(二六六)七八〇三 FAX ○五八(二二四)四〇八一 http://bukkyogifune/</p>	<p>静岡県仏教会</p> <p>会 長 梶 浦 琢 磨</p> <p>静岡県浜松市中区佐藤二二二一 瑞雲寺 〒430-0807 ○五三(四六一)五四二二</p>	<p>滋賀県仏教会</p> <p>会 長 西 村 冨 紹</p> <p>滋賀県大津市坂本五一二二一 滋賀県仏教会事務局 〒520-0113 ○七七(五七八)〇〇二三 FAX ○七七(五七八)三四一八</p>
<p>岡山県佛教会</p> <p>会 長 亀 山 俊 巨</p> <p>岡山県倉敷市羽島九〇九 心鏡寺内 〒710-0043 ○八六(四二二)三三一一</p>	<p>公益社団法人 日本仏教保育協会</p> <p>理 事 長 緑 谷 一 雄</p> <p>東京都港区芝公園四一七一四 明照会館二階 〒105-0011 ○三(三四三)七四七五 FAX ○三(三四三)一五一九</p>	<p>全日本仏教青年会</p> <p>理 事 長 伊 東 政 浩</p> <p>神奈川県横浜市南区 南太田一一二四一四一 日蓮宗常照寺内 〒232-0006 ○四五(七三二)四三六六 http://www.jyban.jp/ E-mail: info@jyban.jp</p>
<p>日本仏教鑽仰会</p> <p>理 事 長 中 山 静 磨</p> <p>東京都板橋区舟渡四一五一一 〒174-0041 ○三(三九六七)三二八八</p>	<p>一般社団法人 仏教情報センター</p> <p>代 表 理 事 高 橋 隆 岱</p> <p>東京都文京区白山一一一七七一五 〒113-0001 ○三(三八一)六五七七 FAX ○三(三八一)三六七九四</p>	<p>日韓仏教交流協議会</p> <p>会 長 宮 林 昭 彦</p> <p>東京都渋谷区恵比寿南二一五一一 〒150-0022 ○三(三七三)一二二七 FAX ○三(三三六)九四七二二</p>

- 天台寺門宗
妙見宗
真言宗善通寺派
真言宗山階派
真言宗泉涌寺派
真言宗犬鳴派
浄土宗西山禅林寺派
浄土宗西山深草派
真宗佛光寺派
真宗興正派
真宗本辺派
臨濟宗南禅寺派
臨濟宗建長寺派
臨濟宗天龍寺派
臨濟宗東福寺派
法華宗真門流
本門法華宗
法相宗
聖徳宗
華嚴宗
律宗
青森県仏教会
岩手県仏教会
栃木県仏教会
群馬県仏教連合会
千葉県仏教会
新潟県仏教会
石川県仏教会
福井県仏教会
山梨県仏教会
長野県仏教会
京都仏教会
兵庫県仏教会
鳥取県仏教連合会
島根県仏教会
(一社)徳島県仏教会

- 香川県仏教会
高知県仏教会
福岡県仏教連合会
長崎県仏教連合会
宮崎県仏教連合会
沖縄県仏教会
東京ブディストクラブ
(一社)在家仏教協会

「救援基金」寄付者一覧
(二〇一三年四月一日～二〇一三年十二月十八日)

- 瑠璃山醫光寺(徳島県)
- 小千谷市仏教会(新潟県)
- 株巧芸社内現代佛教美術展
- 町屋光明寺住職 大洞龍徳
- 駒込学園台星会(東京都)
- 駒込学園(東京都)
- 千葉市仏教会(千葉県)
- 齊藤清美(親類一同)
- 此花区仏教会(大阪府)
- 港区仏教会(大阪府)
- 福岡県仏教連合会(福岡県)
- 全日本仏教徒会議高野山大会会場募金
- 佐野友則
- 芝学園同窓会(東京都)
- 栗沢仏教会(北海道)

※順不同・敬称略

合計 一百五十七万六千五百一十円
ご支援を頂戴し、誠に有難うございました。
本会では引き続き、救援基金への寄付を募集いたしております。

【郵便振替口座】
口座番号 001101091704834
口座名義人 全日本仏教会救援基金
お問い合わせ (公財)全日本仏教会 財務部

謹賀新年

賛助会員 (敬称略)

【特別会員】

大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 松岡 昭禮
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績敏隆
 妙見閣寺 竹内 祥起
 一般社団法人仙台仏教会
 壺阪山南法華寺 常盤 勝範

【団体会員】

京セラ株式会社
 東映株式会社
 日鐵住金建材株式会社 (建築)
 株式会社損害保険ジャパン
 大和証券株式会社 営業サポート部
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部
 朝日ビジネスソリューション株式会社 (コンサルティング業)
 株式会社JTBコーポレートサービス第一事業部 (旅行業)
 トップツアー株式会社 (旅行業)
 近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行業)
 東日観光株式会社 (旅行業)
 株式会社ビーエス観光 (旅行業)
 株式会社大陸旅遊 (旅行業)
 株式会社わらび座 (劇団)
 日本空輸株式会社 (旅行・貨物)
 一般財団法人ライフランニングセンター (医療関連)
 日本テンプルヴァン株式会社 (寺院経営コンサルタント)
 株式会社社縁 (寺社仏閣総合リスクコンサルタント)
 株式会社信天堂 (印刷業)
 株式会社図書印刷同朋舎 (印刷業)
 ティケイヘンデルアート (印刷業)
 株式会社三州社 (印刷業)
 株式会社鎌倉新書 (出版業)
 株式会社四季社 (出版業)
 株式会社オメガコム (翻訳、出版物企画・制作)
 株式会社「イ・エー・エー」 (出版物企画・制作)
 新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
 株式会社便利堂 (美術印刷・企画)
 有限会社ルンビニ (保険代理店)
 株式会社京念珠刑部 (念珠製造・販売)

株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)

株式会社公益社 (葬祭業)
 株式会社タイセイ (総合商社)
 株式会社社いせや (石材業)
 株式会社社安震 (石材業)
 学校法人真宗大谷学園
 仏教看護・ビハーラ学会
 全日本宗教用具協同組合
 全日本葬祭業協同組合連合会
 岩手県葬祭業協同組合
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
 徳島県中央葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人日本石材産業協会

【個人会員】

稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
 池田 公一 (公認会計士)
 石上 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 塩月 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 中田 清吉 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 天性寺 毛利 俊行 (山形県)
 福聚院 伊達 廣三 (宮城県)
 東栄寺 大森 忠篤 (埼玉県)
 法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)
 建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
 萬福寺 垣内 善勝 (東京都)
 本照寺 境野 哲秀 (東京都)
 慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)

浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
 信松院 西村 輝成 (東京都)
 玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)
 慶安寺 深澤 信善 (東京都)
 廣徳寺 板坂 光明 (神奈川県)
 大蔵寺 佐藤 直道 (神奈川県)
 金蔵院 眞田 有快 (神奈川県)
 龍泉寺 壽山 良光 (神奈川県)
 圓満寺 西郊 良光 (神奈川県)
 正泉寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
 女向寺 萩須 眞教 (長野県)
 本光寺 木村 光正 (静岡県)
 十楽寺 井口 真躍 (滋賀県)
 寂光院 松平 實胤 (愛知県)
 光泉寺 松山 公顯 (愛知県)
 太福寺 佐久間 大道 (豊原御宗宗議議員)
 精明寺 正田 哲壽 (鳥取県)
 誓光寺 村上 智真 (山口県)
 鈴木 朝雄 (東京都)
 鳥居 邦夫 (東京都)
 天久保 貴 (神奈川県)
 佐藤 泰之 (神奈川県)
 中村美津江 (神奈川県)
 山崎 忠征 (愛知県)
 中村 澄枝 (京都府)
 安田 容造 (京都府)
 平野 泰寛 (和歌山県)
 田中 悠樹 (長野県)
 和心庵 井上美和子 (佐賀県)
 岩屋 毅 (自由民主党衆議院議員)
 大塚 高司 (自由民主党衆議院議員)
 金子 恭之 (自由民主党衆議院議員)
 上川 陽子 (自由民主党衆議院議員)
 河村 建夫 (自由民主党衆議院議員)
 高村 正彦 (自由民主党衆議院議員)
 今野 智博 (自由民主党衆議院議員)
 関 芳弘 (自由民主党衆議院議員)
 高市 早苗 (自由民主党衆議院議員)
 西川 京子 (自由民主党衆議院議員)
 野田 毅 (自由民主党衆議院議員)
 平沢 勝栄 (自由民主党衆議院議員)
 保利 耕輔 (自由民主党衆議院議員)
 牧島かれん (自由民主党衆議院議員)
 赤石 清美 (自由民主党衆議院議員)

岩城 光英 (自由民主党衆議院議員)
 片山さつき (自由民主党衆議院議員)
 小坂 憲次 (自由民主党衆議院議員)
 佐藤ゆかり (自由民主党衆議院議員)
 武見 敬三 (自由民主党衆議院議員)
 中川 雅治 (自由民主党衆議院議員)
 二之湯 智 (自由民主党衆議院議員)
 早坂 義弘 (自由民主党衆議院議員)
 赤松 広隆 (自由民主党衆議院議員)
 荒井 聰 (自由民主党衆議院議員)
 枝野 幸男 (自由民主党衆議院議員)
 大串 博志 (自由民主党衆議院議員)
 高木 義明 (自由民主党衆議院議員)
 原口 一博 (自由民主党衆議院議員)
 前原 誠司 (自由民主党衆議院議員)
 松本 剛明 (自由民主党衆議院議員)
 三日月大造 (自由民主党衆議院議員)
 大塚 耕平 (自由民主党衆議院議員)
 大野 元裕 (自由民主党衆議院議員)
 斎藤 嘉隆 (自由民主党衆議院議員)
 白 眞勲 (自由民主党衆議院議員)
 林 久美子 (自由民主党衆議院議員)
 福山 哲郎 (自由民主党衆議院議員)
 前田 武志 (自由民主党衆議院議員)
 中山 恭子 (日本維新の会衆議院議員)
 浅尾慶一郎 (みんなの党衆議院議員)
 大西 孝典 (前衆議院議員)
 楠田 大蔵 (前衆議院議員)
 小宮山洋子 (前衆議院議員)
 仙谷 由人 (前衆議院議員)
 仙島 一成 (前衆議院議員)
 長勢 甚遠 (前衆議院議員)
 平岡 秀夫 (前衆議院議員)
 松木 謙公 (前衆議院議員)
 横光 克彦 (前衆議院議員)
 和田 隆志 (前衆議院議員)
 佐藤 公治 (前衆議院議員)
 佐藤 泰介 (前衆議院議員)
 自見庄三郎 (前衆議院議員)
 鈴木 寛 (前衆議院議員)
 鈴木 政二 (前衆議院議員)
 田名部匡省 (前衆議院議員)
 谷川 秀善 (前衆議院議員)
 藤谷 光信 (前衆議院議員)

年 新 賀 謹

會長 半田 孝淳	副會長 横田 南嶺	北河原公敬	萩野 映明	前田 定戒	宮林 昭彦	理事長 小林 正道	評議員 佐々木孝一	橘 正信	齊藤 明聖	里見 法雄	渡邊 照敏	四之宮弘孝	松井 宗益	杜多 道雄	上杉 照延	川田 聖成	理事 河村 松雄	池田 行信	不破 仁	駒野 教源	庄野 光昭	松山 英照	杜多 徳雄	近藤 昌俊	粕谷 利通	森田 俊朗	岡野 正純	桶屋 良祐	石堂 恵眼	山田 一眞	本間 孝康	杉山 令憲	吉田 教行	長澤 香静		
竹田 空尊	監事 井桁 雄弘	古澤 勝浩	山中 一郎	顧問弁護士 長谷川正浩	総務財政審議会 山崎 孝裕	尾井 貴重	下野 真人	浦野 瑞明	川口 智康	廣瀬 義仙	松山 英照	杜多 道雄	芙蓉 良英	中 正宣	村田 靖哲	牧野 秀成	中嶋 英見	新倉 典生	林 恵智子	長谷川正浩	木村 匡成	社会人権審議会 伊藤 謙允	葛谷 英淳	麻生 英城	山北 光彦	三原 正資	深 真樹	窪田 充栄	村上 圓竜	近藤 隆俊	小島 恵真	国際交流審議会 松尾 憲舟	野崎 慶至	藤田 哲史		
宮林 雄彦	佐々木康文	村上 保壽	松山 大耕	奥山 元照	深澤 照生	菅野 秀浩	大來 尚順	正本 乘光	戸松 義晴	日比野郁皓	宗教教育推進委員会 坂田 徹応	白川 了信	安藤 傳融	新谷 仁海	齊藤 憲一	倉岡 弘叔	細川 晋輔	齊藤 圓眞	細川 大憲	菅野 秀浩	杉本 育美	西岡 久善	富田 道生	WFB日本センター 運営委員会 関崎 幸孝	岡崎 正道	小林 義晴	戸松 義晴	正本 乘光	村山 博雅	日比野郁皓	壽山 良光	山本 雅彦	東森 尚人	島山 真	岡本 宣文	
富川 大亮	山口 文章	松原 信樹	草別 善哉	杉本 栄次	上田 則夫	山本 昭弘	新倉 典生	金子 嘉広	古澤 勝浩	関岡 俊二	井上 拓郎	事務総局長 関崎 幸孝	事務総長 奈良 慈徹	東田 樹治	山崎美由紀	財務部 久喜 和裕	小山 智恵	社会人権部 大辻 隆善	田代 弘尚	西野 良嘉	広報文化部 加久保範祐	中村 甲	国際部 鈴木 智信	藤田 宗玄	酒井 仁成	下野 真人	支局長 支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人	支局長 眞人

東日本大震災第七次支援金拠出に関するご案内

本会は救援基金より、被災地での支援活動をされている団体や、被災地の子ども達を対象に保養活動をされている団体、被災地における再生可能な自然エネルギー発電事業を行う団体に対しまして、支援金を拠出しております。

この度、昨年(平成二十三年)の十月二十三日に開催した第十回東日本大震災支援検討会議におきまして、第七次の支援が決定いたしました。詳細につきましては左記のとおりです。

支援対象
寺院(住職・教師等)が主体となつて、被災地域住民のために行う事業

支援1 被災地における再生可能な自然エネルギー発電事業(太陽光・風力・小水力・バイオマス等)への支援

支援2 被災地の子ども達を対象とした保養事業への支援(主催が被災地以外の団体も可)

支援3 被災地支援活動

助成金額
一件につき事業経費の五十%、百万円を上限に拠出

支援2 一件につき事業経費の五十%、三十万円を上限に拠出

支援3 一件につき事業経費の五十%、十万円を上限に拠出

申請対象期間
支援1 二〇一三(平成二十五)年四月一日〜二〇一四(平成二十六)年一月三十一日までに開始する事業が対象

支援2及び3 二〇一三(平成二十五)年九月一日〜二〇一四(平成二十六)年一月三十一日までに活動した事業が対象

申込締め切り
二〇一四(平成二十六)年二月十日 十六時必着

申込方法
本会ホームページから各書式をダウンロードし、もれなく記入して郵送にてご提出ください。その他必要な添付書類につきましては、一緒に申請してください。

詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

申込先・お問い合わせ先
公益財団法人全日本仏教会 社会人権部

※事業経費とは、支援活動にかかる費用(材料費・運送費等)で、支援活動者にかかる費用(交通費・宿泊費等)は含まれません。

事務総局録事

十二月(十六日～三十日)

- 十六日▼長崎市仏教連合会主催平和祈念仏舎利奉安式参列(長崎市原子爆弾無縁死没者追悼記念堂)
- 十八日▼第三十五回埼玉県佛教徒大会・第十七回わかる仏教講演会出席(クレアこうのすホール)
- ▼第四十八回大阪府佛教徒大会出席(ホテル日航大阪)
- ▼第四十三回全日本仏教徒会議愛媛大会第三回実行委員会出席(松山市 ふなや)
- 十九日▼第三十一期会長・副会長推戴候補者推薦委員会開催(京都浄土宗事務庁)
- ▼第五回理事会開催(京都浄土宗事務庁)
- ▼第三十一期会長・副会長発表記者会見開催(京都 和順会館)
- 二十日▼曹洞宗事務庁近藤師来局
- ▼N T T コミュニケーションズ久保田氏他来局
- ▼横田南嶺本会副会長訪問(臨濟宗円覚寺派宗務本所)
- 二十一日▼D O T 吉田氏他来局
- ▼表現文化社碑文谷氏訪問(表現文化社)
- ▼日本弁護士連合会小川原優之氏と打ち合わせ(東銀座)

法律事務所)

- ▼本会審議会答申会場下見(築地本願寺)
- 二十二日▼A B S 山中氏他来局
- ▼芝高等学校佐藤先生来局
- 二十五日▼自由民主党中根一幸衆議院議員・同本部岩松氏・来局
- ▼東映(株)訪問
- 二十六日▼局内会議
- 二十七日▼D A T 新藤氏他来局
- ▼財団創立六十周年記念事業第四回準備委員会開催
- 二十八日▼J T B 大橋氏来局
- ▼東映(株)訪問
- ▼無料法律相談室
- 二十九日▼凸版印刷古屋氏他来局
- ▼仏教主義学校連盟主催第三十回弁論大会出席(立正大 学付属中学校・高等学校校行学ホール)

十二月(一日～十五日)

- ▼第六回宗教教育推進委員会開催
- 五日▼東京都仏教連合会主催第二十五回「成道会の集い」参加(有楽町朝日ホール)
- ▼清水建設(株)本社訪問
- ▼第六回国際交流審議会開催
- 六日▼G R A P H (株)北川氏他来局
- ▼岐阜県仏教臨時理事会において本会事業説明(岐阜市 かき松)
- ▼第一六八回宗教法人審議会出席
- 九日▼日鐵住金建材(株)訪問
- ▼N T T 来局
- 十日▼局内会議
- 十一日▼ネルソン・マンデラ南アフリカ元大統領追悼式典参列(国立大学)
- ▼全日本葬祭業協同組合連合会訪問
- ▼凸版印刷来局
- ▼大塚商会来局
- 十二日▼N D D I 来局
- ▼第七回社会人権審議会開催
- ▼無料法律相談室
- 十三日▼A B S 木村氏他来局
- ▼(公財)日本宗教連盟第三回理事會出席(神社本庁)
- ▼日本宗教連盟主催第二回宗教法人の公益性に関するセミナー「震災復興と宗教」開催協力(神社本庁)
- ▼B N N 企画委員会出席(庭野平和財団)
- ▼第九回総務財政審議会開催

全日本仏教会救援基金について

本会では国内外における災害救援や人道的支援に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今後も状況を見据えた上、現地の被災者救援活動を支援してまいります。つきましては、加盟団体、各寺院、檀信徒・門徒のみならず、宗派を超えて温かい浄財をお寄せいただければ幸いです。救援基金は左記口座までお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

【郵便振替口座】

口座番号
00110-9-704834
口座名義人
全日本仏教会救援基金

フィリピン台風被害への支援

二〇一三年十一月に発生した台風三十号によりフィリピンは大きな被害を受け、また多くの被災者が避難生活を強いられています。本会ではフィリピンでの救援活動を支援してまいります。フィリピン台風被害への救援基金は左記専用口座までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

【郵便振替口座】

口座番号(フィリピン台風専用)
00120-8-790521
口座名義人
公益財団法人 全日本仏教会

お問い合わせ

公益財団法人 全日本仏教会 財務部
TEL・03-3437-9275
FAX・03-3437-3260



花まつりポスター 1/10 頒布スタート!

2014 年春の花まつりポスター、いよいよ頒布開始です!

昨年の販売実績 No1 の「白象と仏旗」を初め、初の試みである、サイズ半分のミニポスターも、もちろんご用意しております。皆様の花まつりに是非ご活用ください!

※下記はデザインのみで、実物は下部に余白がございます
※ミニサイズは横幅が半分のパスターを指します
※サイズ・費用・申込方法等は本会 HP をご覧ください
※2012 年以前のポスターは頒布終了いたしました



昨年の販売実績 No1



白象と仏旗

サイズ感 No1



白象と仏旗 (短冊 Ver)

色の美しさ No1



仏像

わかりやすさ No1



お稚児



購入者の声

- これまでにないデザイン
- 可愛いデザインが大変好評
- 仏教的な感覚と子どもにも分かる



購入者の声

- 手軽なサイズで貼りやすい
- 少ないスペースに最適
- 値段が安く、たくさん買える



購入者の声

- 明るさと美しさが魅力
- お寺行事とわかりやすい
- どの宗派でも使える



購入者の声

- 稚児行列の告知に買った
- 人間の顔は目を引く
- 稚児の見本にもなった

昨年は大変ご好評を頂戴し、誠に有難うございます。

お申込はお早目に。

ポスター申込は右記 QR コード
又は「全日仏」で検索

※お申込の場合は、必ず本会 HP にて詳細をご確認ください。



枚数限定の花まつり絵はがきも
無料配布中!



◎本件に関するお問い合わせ
(公財)全日本仏教会 広報文化部
TEL:03(3437)9275 FAX:03(3437)3260
e-mail: kouho@jbf.ne.jp